

令和4年度 発展強化計画 評価まとめ

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
点数	10	10	10	15	5	5	10	10	15	10	100

法人運営部門

1総務事業 1法人運営事業

① 法人運営の強化 No.1

Check(評価)

- ・事業として安定しているとは言い難い。
- ・内部研修を進める必要がある。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	—	—	—	—	—	—	5	7	4	—	16
期末	—	—	—	—	0	0	5	7	4	—	16

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 45.7

- ・課題解決に向けたOJTを随時開催していく。
- ・環境整備はコスト(初期投資費用)がかかる。まだ先
- ・半期決算理事会は当面実施しない。

② 財政基盤の強化 No.2

Check(評価)

- ・会費を出してもらっている。参加は一応してもらっている
- ・会費の納入方法・使い方は社協独自なのできちんと話し合いが必要。強みを感じない。
- ・具体的に法人会費をどのように進めるかまでは決まっていない。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	4	1	1	4	—	—	3	5	5	4	27
期末	4	1	1	4	—	—	3	5	5	4	27

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 30.0

- ・会員規程の改正。会員から福祉協力員に名称変更案
- ・法人会員の増加を図る。メリット明記
- ・区長補助員の負担軽減のため事業所・法人への案内等は社会福祉協議会が行うこととする。

③ 人事・労務管理体制の整備 No.3

Check(評価)

- ・人事評価などの取り組み方法を再度見直す必要がある。
- ・職員の意見を少しでも吸い上げて反映してほしい。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	—	—	—	—	—	—	2	2	5	3	12
期末	—	—	—	—	—	—	2	2	6	2	12

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 26.7

- ・評価の根拠として必要性はある。事務負担軽減のため簡素化が図れないか検討する。

④ 働きやすい職場づくり No.4

Check(評価)

- ・ストレスチェックのフィードバックがなされていない。
- ・時間外勤務の取得は減ってきている。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	—	—	2	—	1	1	2	—	4	2	12
期末	—	—	2	—	1	1	2	—	4	2	12

Action(見直し、改善、策定)
・ストレスチェック実施体制の整備

期末平均; 21.8

⑤ 業務の合理化、効率化 No.5

Check(評価)

- ・給料明細のペーパーレスは各職員に確認したうえで、進めてみてもよいのでは。
- ・法人内のスケジュール管理は実施できた。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	—	—	—	—	—	—	1	—	3	3	7
期末	—	—	—	—	—	—	1	—	3	3	7

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 20.0

- ・テスト配信してみる。

⑥ 危機管理体制の強化 No.6

Check(評価)

- ・BCPをどこまで評価するか、悩むところ。
- ・BCPが各部署において、うまく伝わっているのか。(各部署内でのBCPの作成を令和5年度で完成させること)

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	—	—	—	—	1	1	2	3	3	3	13
期末	—	—	—	—	1	1	2	3	3	3	13

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 23.6

- ・BCPを策定したが、内容の理解にまでは至れていないので、BCPに関するOJTの実施

1総務事業 2広報事業

① 広報の強化(情報発信)No.7

Check(評価)

- ・クイズやインタビューなど
- ・相談などは紙面を見て予約してくれているので、少なからず情報として伝わっている。
- ・SNSの内部研修などの実施はできていない、またSNSが職員にどれほど浸透しているのか疑問。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	2	2	—	5	2	2	5	8	7	5	38
期末	2	2	—	5	2	2	5	8	7	5	38

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 42.2

- ・経費削減のため12pから8pに
- ・SNS講習会OJT
- ・広告収入検討

2福祉援助活動事業 1心配ごと相談所事業

① 心配ごと相談所の運営について No.8

Check(評価)

- ・「利用者本位」と重なる部分が多いが、住民に「参加」してもらっているという評価が高い。
- ・市内で「困りごと相談」として扱っているのは社協だけという強みがある。
- ・心配ごと相談所の受付簿を新しくした。
- ・県や法テラス等の弁護士相談のつなぎ先がわかるように受付簿に貼るようになった方がよい。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	10	5	5	7	1	4	5	3	12	7	59
期末	10	6	5	8	1	4	5	3	12	7	61

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 61.0

- ・受付ファイルの改良。確認事項を受付簿に貼る。

2福祉援助活動事業 2資金貸付事業

① 資金貸付事業の制度周知、関係機関との連携、償還率の向上に向けた取り組み No.9

Check(評価)

- ・生活福祉資金は社協しかないので強み
- ・セカンドハーベストやフードバンクの活用は困窮がメインになるので、貸付担当者では活用できない

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	3	8	5	7	2	2	7	2	6	7	49
期末	—	8	5	7	1	2	7	2	6	7	45

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 50.0

- ・緊急小口資金等のコロナ特例貸付の償還に向けた準備が必要

地域福祉活動推進部門

1地域福祉事業 1福祉でまちづくり事業

① 住民主体による支え合い活動の推進 No.10

Check(評価)

- ・7月に地域サロンへ参加
- ・あまり積極的に動けずにいる。
- ・つながりのある地域だけにしか訪問できていない状態。
- ・CSWの研修は受講済(地域職員以外)

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	2	2	2	6	1	1	3	1	3	2	23
期末	3	2	3	6	1	1	3	1	3	2	25

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 25.0

- ・継続検討
- ・市全体の活動状況を把握して、つながりを持ち、積極的に参加しやすい関係になり、人材の育成や支援ができるようになる。

② 関係機関と連携、協力して課題解決を目指すネットワークの確立 No.11

Check(評価)

- ・民生委員と連携、協力して事業を進行中。
- ・おせち、お歳暮の配布事業を実施、川柳で見守り活動を進行中。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	—	—	—	—	—	—	3	—	2	2	7
期末	—	—	2	—	1	—	3	—	2	2	10

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 20.0

- ・継続検討

③ 地域福祉の啓発や福祉教育の推進 No.12

Check(評価)

- ・コロナ禍で、できる範囲でのボランティア活動を実施。
- ・作文の評価項目を作り、それを基準にして評価
- ・作文の評価項目を作り、それを基準に評価したことで、どこに視点を向けて評価すればいいか等、評価しやすくなった。(結果、県の評価とほぼ一致)

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	7	—	—	7	—	2	8	—	—	—	24
期末	7	5	5	10	2	3	9	5	8	6	60

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 60.0

- ・継続検討 青少年等ボラの内容や時期の検討

④ 結婚活動支援事業 No.13

Check(評価)

- ・結婚相談登録3名増だが、更新者が少ない。
- ・結婚相談男性新規登録者2名増、登録3年経過後の継続率が低い。
- ・女性の登録、パーティー参加者が少ない。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	8	—	8	13	3	3	9	8	7	5	64
期末	8	5	8	10	3	4	8	6	7	5	64

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 64.0

- ・継続検討 継続者向けの相談講座やイベントの実施を検討、女性が参加・登録したくなるものを検討

1地域福祉事業 2団体育成事業

① 住民が支え合うまちづくり団体の育成・支援 No.14

Check(評価)

- ・会員の減少に歯止めがかからない。
- ・どの団体についても会員の高齢化が深刻化し、脱退、脱会が目立つ。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	5	4	2	3	1	2	4	2	3	2	28
期末	7	7	4	4	1	3	4	2	8	5	45

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 45.0

- ・会議の回数を減らす。役員数を減らし、負担軽減

1地域福祉事業 3戦没者追悼式受託事業

① 戦没者追悼式の実施 No.15

Check(評価)

- ・8/5に開催。
- ・次年度に向けて検討実施。次年度は教育関係者の参加、花が高騰のため小規模(祭壇)設営。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	1	1	2	3	1	2	7	—	3	3	23
期末	2	2	3	3	1	2	8	1	3	2	27

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 27.0

- ・次年度以降の実施の仕方等、市と協議。学生の参加対象者や出席方法など福祉課と学校教育課との調整
- ・遺族会の意思確認

1地域福祉事業 4敬老事業

① 敬老事業・金婚式の実施 No.16

Check(評価)

- ・事業として安定しているとは言い難い。
- ・敬老記念品(手ぬぐい)配布、米寿祝い品(商品券)配布。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	5	2	2	3	1	4	8	8	2	5	40
期末	5	2	2	3	1	4	8	8	2	8	43

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 43.0

- ・次年度以降の実施の仕方等、市と協議。

2共同募金配分金事業 1高齢者・障がい児者・ひとり親家庭・児童青少年福祉活動事業

① 各当事者事業の実施 No.17

Check(評価)

- ・児童・生徒会の募金活動は、10月から各学校で実施。R3実績額の40%を各学校に還元。5月中に振込済
- ・募金活動は各学校で実施。報告・申請待ち

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	9	8	3	10	3	3	7	8	6	9	66
期末	9	7	5	10	3	3	8	8	8	9	70

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 70.0

- ・障がい者『日帰り体験バス旅行』名称を『やとみふくしバス旅行』に変更

2共同募金配分金事業 2ボランティア活動育成事業

① ボランティアセンターの運営 No.18

Check(評価)

- ・V連会員増
- ・ボランティア希望者とのマッチング、ちらし作成、
- ・V連新規加盟歓迎されない。
- ・V連非加盟団体(ボランティア保険登録のみ)複数あり
- ・土日の活動ボランティアと合わない。
- ・ちらし作成後、問い合わせが増したが、V連加入迄には至らず
- ・V保険加入者リストを作成しコーディネートに活用予定、受付時に養成講座出展の勧誘
- ・視察研修、各種講座(防災講座)実施。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	2	5	7	3	2	2	4	3	2	10	40
期末	3	5	7	3	2	2	5	4	2	9	42

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 42.0

- ・ボランティア人口を増やす工夫
- ・V連未加入団体に向けて、V養成講座出展の勧誘

2共同募金配分金事業 3福祉育成援助事業

① 社会福祉協力校の指定 No.19

Check(評価)

- ・車いす講師は貴重。他市町村は職員が説明
- ・実践教室は新しく2つのカリキュラムを実施(要約筆記・盲導犬)

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	7	3	8	6	2	4	9	6	3	9	57
期末	8	5	8	7	2	4	9	7	7	9	66

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 66.0

- ・実践教室のメニューの幅を広げる。
- ・子どももできるボランティア、支援

2共同募金配分金事業 4災害ボランティアセンター事業

① 災害ボランティアに関すること No.20

Check(評価)

- ・会議や研修へ積極的に参加。
- ・存在PRや本会独自あるいは近隣市町村社協共同の開設訓練等の準備はできていない。
- ・会議や研修に参加、VC立ち上げ訓練に社協職員が1名参加し養成することができた。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	9	9	8	4	1	1	8	7	2	10	59
期末	7	7	8	3	1	2	9	5	2	9	53

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 53.0

- ・継続検討
- ・ICT(システム)が使える職員が1人のため、他職員の教育
- ・ICT(システム)使用のマニュアルと現状のマニュアルの擦り合わせ

2共同募金配分金事業 5赤い羽根共同募金運動の推進

① 赤い羽根共同募金の充実 No.21

Check(評価)

- ・10月から始まる共同募金活動の準備中。
- ・実施内容等を見直して実施。法人募金をダイレクトメール送付式にし、出だしは好調だったが、最終的に結果は減額。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	7	3	8	3	3	5	7	7	2	10	55
期末	7	3	8	3	2	5	8	6	5	8	55

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 55.0

- ・実施内容等を見直し、その年にあったやり方を模索。独自のチラシを作成

3歳末たすけあい配分金事業 1歳末たすけあい事業

① 市民向け福祉啓発事業(福祉映画会や講演会等)の企画・立案、実施 No.22

Check(評価)

- ・12/5 福祉映画会に向けて準備中。
- ・映画自体は好評。申し込んだが欠席する人が多かった。
- ・参加者の年齢層が高い、上映映画の選定が困難(予算、年齢層、時代にあったもの等)

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	5	4	5	4	2	2	3	4	10	5	44
期末	6	4	5	4	3	2	3	3	9	5	44

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 44.0

- ・時代にあった映画の上映、講演会、どうしたら申込者が増えるか模索。
- ・映画広く宣伝(民生委員、福寿会他)
- ・整理券なしにしたが、チケットなしだと忘れてしまう?
- ・入場特典(記念品)うたう(カイロなど)
- ・作品コンクール入賞者(佳作まで)を全員招待し、第2部まで残ってもらう工夫をする。

在宅福祉サービス推進部門

1居宅介護支援事業

① なでしこ指定居宅介護支援事業所の適正な運営 No.23

Check(評価)

- ・不採算が常態化している。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	4	10	8	7	1	1	8	7	1	3	50
期末	4	10	8	8	1	1	9	7	1	4	53

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 53.0

- ・黒字化に向けた対応。経費削減に努める。利用者の増加に努める。
- ・早めの人材確保

2訪問介護事業

① なでしこ指定訪問介護事業所の適正な運営 No.24

Check(評価)

- ・介護保険の訪問介護事業で不採算が常態化している。
- ・社協内外含め、関係機関との連携を図ることができている。
- ・障害居宅サービスは当事業所が市内唯一
- ・ヘルパーの高齢化、人手不足が深刻
- ・利用者が少しではあるが増加している。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	4	8	7	8	1	3	8	7	1	4	51

期末	4	8	7	8	1	3	9	7	3	4	54
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 54.0

- ・経費削減、時間外勤務の抑制
- ・初任者研修資格者のヘルパー兼務検討

福祉サービス利用支援部門

1相談支援事業

① なでしこ指定障害者相談支援事業所の適正な運営 No.25

Check(評価)

- ・様々な立場にある相談者に対応できるように外部研修参加及び内部での事例研究を行っている。
- ・相談者主体で問題解決に取り組めるように相談スキルの向上を目的としたOJTを実施。
- ・他機関と連携し多面的な関わりを作っている。
- ・住民ニーズが右肩上がりが増える中、地域の同業事業所は許容量を超え、対応を断っている現状がある。
- ・公用車が足りない。相談員6名で現状2台
- ・外部研修、講演会に積極的に参加している。
- ・事例検討に正規職員だけでなく、非常勤職員も参加。
- ・新人職員には経験のある職員が支援に同行し助言を行うほか、地域の新規事業所の経験浅い相談支援員にも同行し、助言を行う。
- ・「なごみの会」9月より再開、サービスの狭間の居場所づくりや社会参加の資源の一つとなっている。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	5	8	8	7	1	1	8	7	3	5	53
期末	5	8	7	7	1	1	8	6	3	6	52

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 52.0

- ・業務量に余裕はないが、地域課題として、受け皿不足の対応には取り組まないといけない。

2日常生活自立支援事業

① 日常生活自立支援事業の適正な運営 No.26

Check(評価)

- ・利用者の話を傾聴するので、利用者本位で動いている。
- ・他の関係機関の連携は密に取れている。
- ・使命はあるが、採算は取れていない。
- ・生活支援員は充足している。事業PRは民生委員代表者に話は通してある。
- ・新規利用者があっても現状動けない。だが、基本的に新規利用者を断ることは考えていない。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	3	6	7	6	1	5	7	5	3	5	48
期末	4	7	7	8	1	5	7	5	5	5	54

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 54.0

- ・宣伝検討

3生活困窮者自立支援事業

① 生活自立支援センターの適正な運営 No.27

Check(評価)

- ・情報収集や訪問は適宜実施。信頼構築を優先したうえで情報提供や必要な支援を個別対応としている。
- ・市の意向であり宣伝しない。増えすぎるのは歓迎しない。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	2	8	7	5	2	2	6	5	9	5	51
期末	2	8	7	5	2	2	6	5	9	5	51

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 51.0

- ・体制整備

- ・主任相談支援員が相談員を兼務し難問ケースに対応。更に一時生活支援事業、家計改善支援事業、学習支援事業を担う。就労支援員は就労支援に関する支援全般とし、就労準備支援事業も担う。
- ・主任相談支援員や就労支援員で各種研修を受講する。

施設福祉部門

1就労Bチャレンジハウス弥富

① 就労継続支援B型『チャレンジハウス弥富』の適正な運営 No.28

Check(評価)

- ・地域のイベント等への参加を含む工賃向上に向けての取組に関しては進んでいる
- ・職員に対しての研修やニーズ調査などは、進みが鈍い。
- ・利用者が増えない。
- ・工賃向上に向け、採算の良い作業の確保に取り組んでいるが、作業量が不安定。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	3	7	5	3	1	1	5	5	5	4	39
期末	3	8	6	3	1	1	7	5	6	5	45

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 45.0

- ・ニーズ調査を目的に家族等との意見交換や親の会などへの参加を継続
- ・参加する地域イベントの検討。
- ・作業量を確保するために作業の開拓等を継続

2地域活動支援センター十四山

① 『地域活動支援センター十四山』の適正な運営 No.29

Check(評価)

- ・月1回のミーティングで困っていることについて話を進めている。障がいの特性についても話し合っている。
- ・毎月「なかよし通信」を順調に掲載出来ている。
- ・ミーティングで一人一人の対応方法を話し合う事が出来ている。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	3	7	5	4	0	2	5	7	1	4	38
期末	3	8	5	4	1	3	6	7	6	4	47

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 47.0

- ・来年度の支援計画の準備として各々の利用者の特性を改めて確認中。
- ・知的障害、精神障害について理解を深める
- ・SNS等での地活の対象者や事業の概要等を掲載し、施設の情報発信に努める。

3送迎事業

① 送迎事業の適正な運営 No.30

Check(評価)

- ・コロナで急に運転、補助の欠席があったがスムーズに人員確保できた。
- ・募集をかけるがなかなか集まらない。
- ・出張交通安全講習会、令和5年1月に実施。地活主体合同実施。
- ・令和4年夏に運転手対象に「自動車運転者の交通安全チェックシート」を実施。

評価基準	住民参加	利用者本位	総合的支援体制	住民ニーズ	先駆的	市内唯一	関係機関連携	情報開示	事業単独運営可	採算・使命	合計
中間	3	7	5	5	0	0	4	3	1	4	32
期末	3	8	5	5	0	0	4	3	1	4	33

Action(見直し、改善、策定)

期末平均; 33.0

- ・令和6年度にチャレンジ主体で安全運転講習会の実施準備